

# かいのき児童クラブ便り



子どもたちの豊かな学びのため



H27年度 夏 第2号

H27. 8. 17

## 自然の中で育つ心と身体！

木々に囲まれ自然豊かな環境の中で過ごせるかいのきクラブ。子どもたちは、虫取り、秘密基地、光るどろだんご作り、ロープでブランコ作り、サッカーやドッジ等々、豊かな遊びを楽しんでいます。



昨年土山で大ブレイクした遊び、“神水寺”はみんなが使えるようにと“幸福寺”に改名。「みんないっせいに水をもってこい」と指示しているのは3年0君。山の上にバケツやペットボトルで水を運び込んだ後「頑張れえー。あとは池をほるだけだ」と山の周りに池作り。昨年とは

また少し活動が変わるのではないかと、長い竹もあることを伝えると、流しそうめんのように竹を支柱の上に置き、水を流し始めました。「もっと水をたくさんくれえ！」「お前ら言う前に運べよ」とやりとりしながら懸命に水を運ぶ男の子たち。それを見た女の子達も仲間入り。竹に水を流しながら、「これ、チョー楽しい！」

しかし、柱の上に置いただけの竹は不安定。「誰か竹を支えてよ～。安心して手が離せんが～」どのようにしたらしっかり支えることができるのか、知恵を出し合い、竹の下に板を置いて支えたり、太い柱は両側をロープでひっばってみたり・・・と試行錯誤。なかなか思うようにはいかないけれど、仲間と頭を寄せ集めて本気で考える、その過程がおもしろい！

### <ぼくらの居場所>

台風の後、たくさん落ちていた枯れ枝を組んで、秘密基地を指導員と一緒に作った低学年の男子。それをヒントに高学年の男子は自分達だけで、さらに大きな枝を組んで上から葉っぱをかぶせ、立派な秘密基地ができあがりました！

中にベンチを置くと、そこはすっかり自分達だけの空間。古いひしゃくが玄関のベル代わり。刀の収納庫も作り、ワクワクする気持ちが伝わってきます。

遊びの中で体力、知力ともに鍛えられています。



(文責 土田)

## 男の料理は豪快に



今年の手作り昼食は高学年が担当。自分のやりたいメニューを選んで作ることになりました。トッパッターは女子4人で豚丼作りです。一を聞いて十を知る女の子たち。手際もよくどんどん進めていきます。

カレー作りの希望者は男子6人。「昨日リハーサルをした」と言うSくん、意欲まんまんです。まずみんなで作り方の順序を確認し、それから

チャレンジ。二つの大なべに入れられた60人分のカレーの材料山盛りの玉ねぎを見て「一番苦戦するのは玉ねぎじゃな」と4年女子Yさん。そのことば通り、「玉ねぎにしてやられた～」 「わー、きたあ！」「そばにいただけで涙が出るー！」と何とものにぎやか。でも、途中であきらめることなく、約30個の玉ねぎ切りも完了。

材料として届いた大根のヘタをとって「これ、水につけて実験しようや」「ジャガイモは特製きのこの形に切ってみた！」おやつ用に買っていたバナナを「隠し味にしよう」と細かくつぶし、どんな味になるか興味津々。

手伝ってくださったお母さんは「豪快な野菜がたくさん入ってるわ」とニコニコ。

ご飯の盛り方について「ごはんをお皿にペタンコにしてるけど、こんもりと盛ったほうがいいよ。こっちの方がおいしそうに見えるでしょ」とYさんがアドバイス。「あ～」とこんもりと盛る男の子たち。

カレールーをかけてあげるのは作った人たちの役割。それを忘れてる子には「主役はこっちで」と呼び、一緒にカレーをかけてあげている姿は何か誇らしげです。バナナ、大根を隠し味にするというナイスアイデア。おかわり続出で、約5升のごはんは完売！

“男の料理”は豪快かつアイデアに満ちたものでした！  
(文責 土田)



## お願い

**前半(お盆前) ムシムシ暑い日が続く、熱中症や体調を崩した子もいました。子ども達が自由に水分をとれるように外にウォータージャグを室内には、ウォーターサーバーを設置しました。室内の温度もこまめに調節していますが、温度に関してかなり個人差があります。熱中症のことなどを考えると暑がりの子にあわせるしかありません。クーラーに弱いお子さんには、1枚上に着るものを持たせてください。**

\*8月25日(火)交流会の日は、注文弁当は、ありません。お弁当持参でお願いします。